

日本自己血輸血学会 2004 年度第 1 回理事会議事録

日 時： 2005 年 3 月 3 日(木) 15:00～16:30
場 所： 久留米大学 筑水会館 2F 同窓会会議室
〒830-0011 福岡県久留米市旭町 67

出席者：(敬称略)

会 長： 佐川公矯

理 事： 稲葉頌一、木曾一誠、公文啓二、小山信彌、朴 勺、富士武史、
南 昌平、吉岡尚文、脇本信博

監 事： 面川 進、樋口富士男

名誉会員： 高折益彦、湯浅晋治

欠席者：(敬称略)

理 事： 鶴丸昌彦、西岡淳一、花岡一雄、布施勝生、前田平生

名誉会員： 原 宏、細山田明義、正岡 徹

佐川会長より理事会開会の挨拶

議 事：

【報告事項】

1. 第 18 回学術総会状況報告(佐川会長)

学術総会の構成、演題内容等について報告があった。特別講演、シンポジウム、ランチョンセミナーのテーマや翌日からの抱負についてコメントがあった。

2. 事務局長報告 2004 年度事業報告(富士事務局長)

別記の通り。

(財)日本学会事務センター破産に関する報告があった。

3. 各委員会からの報告

● 編集委員会(富士編集委員長)

(財)学会事務センターの破産により、投稿や査読の受付窓口となる編集事務局をいったん大阪厚生年金病院へ移し、その後、事務委託をすることになった(株)コネットへ移した旨、報告があった。

● 保険対策委員会(脇本委員長)

厚生労働省が、輸血に関する保険手数の見直しのため、輸血学会に対しヒアリングをする動きのあることが報告された。本学会としても、疑義のある場合は申し出ていただくよう、呼びかけがなされた。

4. 第 19 回学術総会開催準備報告(佐川会長、花岡次期会長代理として)

第 19 回学術総会について、2006 年 2 月 24 日・25 日に都市センターホテルにて開催される事、および前日の 2 月 23 日に理事会・評議員会など各種会務を開催する予定である旨、準備状況などの報告があった。

【協議事項】

1. 2004 年度収支決算報告（案）および監査について（評議員会議事録参照）
2. 2005 年度予算（案）について（評議員会議事録参照）
3. 任期満了の理事（監事）・評議員について
協議の結果、以下の任期満了の理事、評議員が再任された。
理事： 朴 勺、吉岡尚文
評議員： 池淵研二、河野一郎、小堀正雄、田崎哲典、丹生恵子、野坂修一、
野沢雅彦、幕内晴朗、盛 直久、山田隆司
4. 新評議員の選出について
協議の結果、以下3名の候補者が選出された。
折井 亮(東京大学医学部附属病院麻酔科) 推薦者：花岡次期会長
五嶋 良吉(兵庫県立淡路病院 麻酔科) 推薦者：高折名誉会員
鷹野寿代(医療法人雲の聖母会 聖マリア病院輸血部) 推薦者：佐川会長
5. 第 20 回（2007 年度）学術総会会長選出について（評議員会議事録参照）
6. 会則変更について（事務局委託事項）(評議員会議事録参照)
7. 年会費 3 年以上未納の会員について
年会費 3 年以上未納の会員について、会則の通り退会扱いとする事が承認された。また、学術総会の演題発表者については、特に注意して年会費を納めていただくよう、喚起することが確認された。
8. その他（財）日本学会事務センター破綻に関する責任問題について(評議員会議事録参照)

日本自己血輸血学会 2004 年度第 1 回評議員会議事録

日 時： 2005 年 3 月 3 日(木) 16:30 ~ 18:00

場 所： 久留米大学 筑水会館 1F 小会議室
〒830-0011 福岡県久留米市旭町 67

出席者：(敬称略)

会 長： 佐川公矯

理 事： 稲葉頌一、木曾一誠、公文啓二、小山信彌、朴 勺、富士武史、南 昌平、
吉岡尚文、脇本信博

監 事： 面川 進、樋口富士男

評議員： 浅井隆善、猪狩次雄、大沢哲雄、菊池 啓、高橋孝喜、立花新太郎、
田中達郎、谷口省吾、種本和雄、丹生恵子、野沢雅彦、林 純一、
正宗良知、村田宣夫、山田隆司、吉田雅司、

名誉会員： 高折益彦、湯浅晋治

功労会員： 小林芳夫

欠席者：(敬称略)

理 事： 鶴丸昌彦、西岡淳一、花岡一雄、布施勝生、前田平生、

評議員： 池淵研二、大杉治司、大戸 斉、大橋俊郎、甲斐俊朗、勝屋弘忠、
北村道彦、河野一郎、小堀正雄、柴田洋一、田崎哲典、徳永裕彦、
野坂修一、星 順隆、前川信博、幕内晴朗、松崎浩史、松本美富士、
宮岡英世、盛 直久、山寄正人、

名誉会員： 原 宏、細山田明義、正岡 徹

功労会員： 小柳 仁、横山繁樹

議 事：

【報告事項】

1. 第 18 回学術総会状況報告(佐川会長)
2. 事務局長報告 2004 年度事業報告(富士事務局長)
3. 各委員会からの報告
4. 第 19 回学術総会開催準備報告(佐川会長、花岡次期会長代理として)
5. 任期満了の理事(監事)・評議員の再任報告
6. 新評議員の選出報告
7. 年会費 3 年以上未納の会員について

(以上、理事会議事録参照)

【協議事項】

1. 2004 年度収支決算報告(案)および監査について
 (財)学会事務センターの破産により、学会会計に大幅な被害損失のあったことが、富士事務局長より説明された。
 被害額については、3月7日の東京地裁の判決により確定する予定であるが、損金見込額が 6,183,981 円である旨報告があった。
 監査については今までは持ち回りであったが、今回は、樋口、面川の両監事により帳簿・伝票などが詳細に検討され、会計処理は適正に執行されていることが確認された。協議の結果、2004 年度収支決算報告(案)は承認された。
2. 2005 年度予算(案)について
 富士事務局長より 2005 年度収支予算書(案)が提出され、協議の結果承認された。
3. 第 20 回(2007 年度)学術総会会長選出について
 理事会より推薦された、新潟大学医学部第 2 外科の林 純一評議員が選出された。
4. 会則変更について(事務局委託事項)
 学会事務センターの破産により、事務局委託事項を改定しなければならなくなった旨、富士事務局長より説明があった。新しい委託先については、暫定的に(株)コネットすることが承認された。
5. その他 (財)日本学会事務センター破綻に関する責任問題について
 (財)日本学会事務センターが破産した事件について、財政的な損害、および学会の事務機構が一時停止したことについて、富士事務局長より報告があった。その後、暫定的に事務局を大阪厚生年金病院へ移し、会員管理、編集査読の受付など継続しながら、管財人と学会関連書類(会計帳簿等)、データ、学会誌バックナンバー等について返却の手続きが進められた旨説明があった。
 理事会にて、事務センターへ委託を決定した際の理事は、一旦、会員への責任をとって辞職すべきだという意見があったが、一方で、現理事は責任をもって、財政の問題を立直しに励む方が適切だという見解もあり、評議員会にて持ちこされることとなった旨、報告があった。
 数人の評議員から、今回の事件を通して本学会の役員組織の脆弱さが明らかになったとの指摘があり、評議員会で協議の結果、会長は、大会運営に専念し、代表者として学会のあらゆる諸問題を決定する役職として、理事長を設けることとなった。
 その後、新理事長の選出について協議され、賛成多数(28 名中 26 名投票)により、脇本理事が学会理事長に選出された。なお、今後の理事長選出は理事会で決定することとした。

日本自己血輸血学会 2004 年度総会議事録

日 時：2005 年 3 月 4 日(金) 13:15 ~ 13:35

場 所：久留米大学筑水会館 イベントホール

出席者：日本自己血輸血学会学会員

議 事：

【報告事項】

1. 会長報告 - 第 18 回学術総会報告 -
2. 事務局長報告 - 2004 年度事業報告 -
3. 新評議員の選出
4. 第 19 回 (2006 年) 学術総会開催の予定
5. 第 20 回 (2007 年) 学術総会会長の選出
6. 理事長の選出について

(以上、評議員会議事録参照)

【協議事項】

1. 2004 年度収支決算 (案) および監査について
評議員会より提示された 2004 年度収支決算報告案について承認された。
2. 2005 年度収支予算 (案) について
評議員会より提示された 2005 年度収支予算書案について承認された。
3. 会則の変更について
評議員会にて、(財)日本学会事務センターが破産したことに伴い、会則第 4 条の文言について、「本会の事務局は細則に定めるところとする。」に変更することが確認された旨報告があり、協議の結果承認された。
また、細則 5 として、新たに事務局の所在地について という事項を追加し、(株)コネットにおく事が確認された。